

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ぼくは、ともきくんにかわれている魚のテトラと言います。仕事は、ともきくんの家族みんなをいやすことです。

本当は、中学三年生のお兄ちゃんがかつていて、いつもぼくの世話を上手にしてくれています。でも、ともきくんのお兄ちゃんは受けんにいそがしいみたいで、夜はじゅくに行っています。お兄ちゃんは夜、僕の世話はできません。そこで、夜は、ともきくんにたのんで世話をしてもらっています。ともきくんの世話は、ていねいですがごくやさしいです。エサをたっぶりくれて、すぐにおなかいっぱいになってしまふほどです。そして、仲間と一緒に分け合えるくらいいのちようどよいりようです。

でも、うれしい時もあれば、かなしい時もありません。それは、この前友だちのエビくんが、水しつが悪くて死んでしまったことです。水そうの前には、死んでしまったエビくんをかなしげな目でずっと見つめている、ともきくんとともきくんのお兄ちゃんがいきました。ともきくんのお兄ちゃんはエビくんを見つめながら、

「さん念だったね。」

と言い、庭の土にうめたそうです。その光景を見ていたぼくは、とてもかなしかったです。

ともきくん①お願いです。たまには、水しつのかんりをしてください。それから、目がクラクラするので、電気をつけたり、けしたりしないでください。

どうか、最後まで大切に世話をしてください。

【「文集はちおうじの子」より】

問1 ともきくんの世話の様子として、正しいもの全てを選びなさい。

- ア 仲間と一緒に分け合えるくらいの、ちようどよいりようのエサをあげている。
- イ 水しつが悪くならないように、水をとりかえている。
- ウ 死んでしまったエビを庭の土にうめてあげている。
- エ 電気をつけたり、けしたりしている。

問2 線部①お願いと、だからだれへ向けたお願いですか。

にあてはまる言葉を文章から書きぬきなさい。

から

へ